

精神神経科

1 教育目標

(1) 一般目標

精神と行動の障害に対して、全人的な立場から、病態生理・診断・治療を理解し、良好な患者と医師の信頼関係にもとづいた医療を学ぶ。

(2) 行動目標

態度

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

各々の疾患・障害の概念が概説できるところまでが目標となる。

[診断と検査の基本]

1. 患者＝医師の良好な信頼関係にもとづく精神科面接の基本を説明できる。
2. 精神科診断分類法を説明できる。
3. 精神科医療の法と倫理に関する必須項目（精神保健福祉法・インフォームドコンセント）を説明できる。
4. コンサルテーション・リエゾン精神医学を説明できる。
5. 心理検査法の種類と概要を説明できる。

【クリニカル・クラークシップB】

各々の疾患・障害の概念が概説できるということにとどまらず、おおまかな鑑別診断・初歩的治療への参加ができることを目標とする。

6. 患者＝医師の良好な信頼関係にもとづく精神科面接の基本を説明でき、実践もできる。
7. 精神科診断分類法を説明でき、実際の症例を分類できる。
8. 精神科医療の法と倫理に関する必須項目（精神保健福祉法・インフォームドコンセント）を説明でき、症例についての問題点を取り出せる。主治医と問題点に関してある程度議論ができる。
9. コンサルテーション・リエゾン精神医学を説明でき、初歩的な関わりがもてる。
10. 心理検査法の種類と概要を説明でき、簡便なものについては実践できる。
11. うつ状態、躁状態、不安、幻覚、妄想をきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断を説明できる。
12. 不眠を訴える患者の精神医学的評価、診断・鑑別診断、治療を説明できる。

知識

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

以下の疾患群について必要な知識を身に着ける

1. 症状性・器質性精神病
2. 認知症
3. 薬物の乱用・依存・離脱
4. アルコール依存症
5. 統合失調症の急性期
6. 統合失調症の慢性期
7. うつ病
8. 双極性障害
9. 不安障害（パニック障害、社会不安障害、全般性不安障害）
10. 強迫性障害
11. ストレス関連障害
12. 心身症
13. 解離性障害
14. てんかん

【クリニカル・クラークシップB】

以下の疾患群について必要な知識を身に着ける

15. せん妄
16. 摂食障害
17. パーソナリティ障害
18. 知的障害
19. 自閉スペクトラム症と注意欠陥・多動性障害
20. 行為障害

技能

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. 患者の診察や家族面談に陪席し内容をカルテに SOAP 方式でまとめることができる。
2. 上記の精神疾患の分類ができる
3. 上記疾患については教科書や文献で病態について学ぶ。

【クリニカル・クラークシップB】

4. リエゾンラウンド，摂食障害プログラム参加，神経心理検査講義，文献検索などにより，上記疾患の本質について学び，機会があれば，閉鎖病棟における任意入院，医療保護入院についての適応疾患についても学ぶ。

2 実習要領

【クリニカル・クラークシップA】

1. 第1週月曜日 8:30 に外来第1診察室に集合。
2. 予定表に従って行動する。
3. 既存の入院患者1名を担当し，指導医の指導のもと診察・カルテ記載を行い，レポートを完成させ提出する。
4. 2グループに分かれて架空症例の検討とスライド作成を行う。
5. 受け持ち患者の疾患・障害について調べ，わからないことは指導医に質問する。

【クリニカル・クラークシップB】

5. 月曜日 8:30 外来第1診察室に集合。
6. 既存の入院患者1名，新入院患者随時，を担当し，診察に参加しカルテ記載する。
7. 随時，指導医（医師1名が担当）から受け持ち患者についての説明を受ける。
8. 関連病院見学などで希望があれば指導医に相談する。
9. 指定日（最終月曜日）に受け持ち患者について発表する。

機会があれば以下についても検討する。

10. 認知症外来、てんかん外来の見学

3 実習の評価方法

【クリニカル・クラークシップA】

初日に割り当てられた症例患者のレポートを最終日までに作成し提出する。

架空症例のスライドを最終日に発表する。

レポートも含めて総合的に評価する。

【クリニカル・クラークシップB】

指定日（概ね第3週目の月曜日 16:00～医局にて）に，1例の症例発表を行い質疑応答を受ける。知識と技能・患者やコメディカルとのコミュニケーションなどを評価する。

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

アンプロフェッショナルな態度が見られた場合には厳正に対処する。

4 クリニカル・クラークシップ指導連絡員

職 名	教 員 名		
教 授	宮田 淳		
准教授	深津 孝英	河合 三穂子	
講 師	田所 ゆかり		
助 教	吉本 隆明	吉田 太郎	藤田 貢平
	比嘉 智子		
医員助教	一瀬 裕太郎		
専 修 医	宮本 泰彰	櫻井 麻里	石黒 光里

5 連絡先

場 所 (内線)	精神科医局(22130)
E - m a i l	amupsych@aichi-med-u.ac.jp

【初日の集合時間／場所】

8:30／外来第1診察室

【祝日の場合】※火曜日

8:30／外来第1診察室

6 クリニカル・クラークシップA 週間予定表

曜日	午 前			午 後		
	内容	担当者	実習室	内容	担当者	実習室
月	オリエンテーション 入退院症例紹介見学 A:外来実習 B:病棟実習 C:作業療法参加	深津 孝英 藤田 貢平 服部	医 局 A: 外来第1診察室 B: 4C 病棟 C: 作業療法室	診療会議 病棟回診見学 症例検討会参加	宮田 淳	4C カンファレンスルーム
火	A:外来実習 B:病棟実習 C:作業療法参加	宮田 淳 服部	A: 外来第1診察室 B: 4C 病棟 C: 作業療法室	臨床講義	藤田 貢平	医 局
水	A: 外来実習 B: 臨床心理実習 C:作業療法参加	深津 孝英 酒井/吉本 服部	A: 外来第1診察室 B:こころのケアセンター C: 作業療法室	臨床講義	櫻井 麻里	4C カンファレンスルーム
木	A:外来実習 B:病棟実習 C:作業療法参加	河合三穂子 服部	A: 外来第1診察室 B: 4C 病棟 C: 作業療法室	臨床講義	吉田 太郎	4C カンファレンスルーム
金	A: 外来実習 B: 電気けいれん療法見学 C: 病棟実習	吉本 隆明 藤田/櫻井/ 比嘉	A: 外来第1診察室 B: 手術室 C: 4C 病棟	臨床講義	田所 ゆかり	4C カンファレンスルーム
火	A:外来実習 B:病棟実習 C:作業療法参加	宮田 淳 服部	A: 外来第1診察室 B: 4C 病棟 C: 作業療法室	臨床講義	吉本 隆明	医 局
水	A: 外来実習 B: 臨床心理実習 C:作業療法参加	深津 孝英 酒井/吉本 服部	A: 外来第1診察室 B こころのケアセンター C: 作業療法室	臨床講義	一瀬 裕太郎	医 局
木	A:外来実習 B:病棟実習 C:作業療法参加	河合三穂子 服部	A: 外来第1診察室 B: 4C 病棟 C: 作業療法室	認知行動療法見学	伊井 俊貴	作業療法室
金	A: 外来実習 B: 電気けいれん療法見学	吉本 隆明 藤田/櫻井/ 比嘉	A: 外来第1診察室 B: 手術室	スライド発表・総括	宮田 淳	医 局

7 クリニカル・クラークシップB 週間予定表

【初日の集合時間／場所】

8:30／外来第1診察室

【祝日の場合】 ※火曜日

8:30／外来第1診察室

基本的には担当医の指示のもと行動する。

症例検討，教授回診など参加すべき定期的実習・演習のみを示す。

曜日	午 前			午 後		
	内容	担当者	実習室	内容	担当者	実習室
月	外来実習	藤田 貢平	外来第1診察室	診療会議・入退院症例紹介 見学・病棟回診見学 オリエンテーション(初日のみ) 症例発表(最終週)	宮田 淳 深津孝英 宮田 淳	4C カンファレンスルーム 医局 (C棟9階)
火	外来実習	宮田 淳	外来第1診察室	病棟実習(カルテ記載) レポート作成	深津/ 河合 田所/吉本 吉田/藤田 宮本/比嘉 石黒	4C 病棟 医局
水	外来実習	深津 孝英	外来第1診察室	病棟実習(カルテ記載) レポート作成	河合/ 田所 吉本/櫻井 宮本/比嘉 一瀬/石黒	4C 病棟 医局
木	外来実習	河合三穂子	外来第1診察室	病棟実習(カルテ記載) レポート作成 心理講義(希望者)	吉田/藤田 櫻井/ 一瀬 石黒 酒井/吉本	4C 病棟 医局 こころのケア センター
金	外来実習	吉本 隆明	外来第1診察室	病棟実習(カルテ記載) レポート作成	深津/ 田所 吉田/藤田 櫻井/宮本 比嘉/一瀬	4C 病棟 医局

備考

月曜日・金曜日 電気けいれん療法も実施